

有力FX企業16社の月間データランキング-2017年12月-

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてFX(外国為替証拠金取引)店頭取引市場における有力企業16社^{*1}のアンケート調査を実施した。(有力FX企業月間ランキング-2017年1月より、調査対象企業が1社減少したため2016年12月に遡り、各データを再集計し、更新した)

1. 調査期間:2018年1月
2. 調査対象:FX業界大手、有力企業のうち社名又は数値の公表を前提として、協力を得られた16社を対象とした。
一部の企業で、統計数値や社名について非公開のものもあるため、集計対象が16社にならないものもある。
※社名及び数値を非公開とする企業は、集計の際、「その他」としてランキングから除外した。
3. 調査方法:当社専門研究員によるe-mailによるアンケート調査

【調査結果サマリー】

◆ 企業単体集計の2017年12月の預かり残高第1位はGMOクリック証券、第2位は外為どっとコム

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年12月末の有力FX企業15社^{*1}の預かり残高の合計は、8,936億円であった。12月は本調査対象企業15社中7社(その他企業2社含む)で預かり残高が増加したものの、前月比78億円減(0.87%減)となった。

◆ 企業単体集計の2017年12月の口座数の第1位はDMM.com証券、第2位はGMOクリック証券

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ^{*2}、第2位はGMOグループ^{*2}

2017年12月末の有力FX企業16社^{*1}の口座数の合計は、455万口座であった。12月は前月比3.0万口座増(0.68%増)となり、本調査対象企業16社中15社(その他企業2社含む)で口座数が増加した。

◆ 2017年12月の取引高の第1位はDMM.com証券、第2位はGMOクリック証券

2017年12月の月間取引高は、有力FX企業12社^{*1}の合計で158兆円(百万通貨は1億円として換算)であった。12月は前月比61.7兆円減(28.06%減)となった。本調査対象企業すべてで取引高が減少した。

(*1. 集計対象は、預かり残高15社、口座数16社、取引高12社、いずれも無回答を除く。)

(*2. SBIグループはSBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレード3社の店頭取引の合算値。GMOグループはGMOクリック証券、FXプライム by GMOの店頭取引の合算値。)

★ご注意:本ランキングは、情報提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

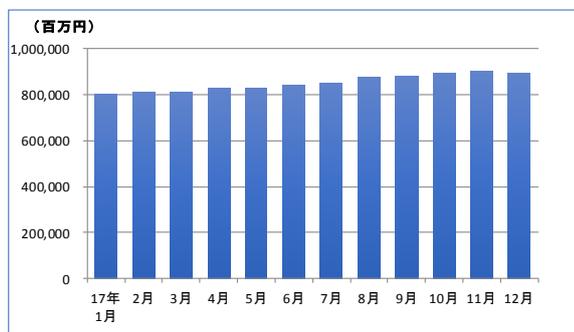
本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

プレスリリース

【 預かり残高 】

- 企業単体における預かり残高ランキングの第1位はGMOクリック証券で1,401億円、第2位の外為どっとコムは1,170億円。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(2,004億円)、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(1,572億円)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率は上田ハロー(1.96%増)。次いでDMM.com証券(0.36%増)であった。

図表 1. 預かり残高推移と12月月間ランキング



(単位：百万円、%)						
預かり残高 順位	社名	2017年11月	2017年12月	増減額	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	201,524	200,451	▲1,073	▲0.53	
2	GMOクリック証券	143,596	140,108	▲3,488	▲2.43	
3	外為どっとコム	116,773	117,055	282	0.24	4
4	DMM.com証券	115,893	116,309	416	0.36	2
5	ウイジェイFX	99,995	97,512	▲2,483	▲2.48	
6	セントラル短資FX	62,645	62,671	26	0.04	5
7	マネーパートナーズ	61,675	61,378	▲297	▲0.48	
8	ヒロセ通商	46,756	45,404	▲1,352	▲2.89	
9	FXプライムbyGMO	17,358	17,137	▲221	▲1.27	
10	トレイダーズ証券	12,431	12,468	37	0.30	3
11	上田ハロー	11,024	11,240	216	1.96	1
	その他(2社)	11,863	11,938	75	0.63	
	合計	901,533	893,671	▲7,862	▲0.87	

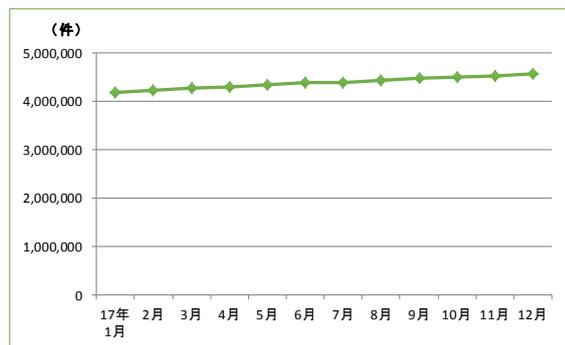
注1. 集計対象は無回答1社を除く15社の合計値。その他には2社含まれる。

矢野経済研究所調べ

【 口座数 】

- 企業単体における口座数ランキングの第1位はDMM.com証券で63.7万口座、第2位のGMOクリック証券は51.5万口座。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(101.9万口座)で、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(69.2万口座)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はSBIグループ(1.33%増)。次いでヒロセ通商(0.89%増)であった。

図表 2. 口座数推移と12月月間ランキング



(単位：件、%)						
口座数 順位	社名	2017年11月	2017年12月	増減数	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	1,005,793	1,019,144	13,351	1.33	1
2	DMM.com証券	633,236	637,460	4,224	0.67	4
3	GMOクリック証券	511,512	515,022	3,510	0.69	3
4	外為どっとコム	445,917	448,056	2,139	0.48	5
5	ウイジェイFX	325,702	327,222	1,520	0.47	6
6	マネーパートナーズ	308,647	309,873	1,226	0.40	7
7	トレイダーズ証券	300,996	301,878	882	0.29	8
8	マネックス証券	242,924	243,584	660	0.27	9
9	ヒロセ通商	217,491	219,436	1,945	0.89	2
10	FXプライムbyGMO	176,775	177,246	471	0.27	9
11	セントラル短資FX	168,896	169,188	292	0.17	11
12	上田ハロー	53,050	53,021	▲29	▲0.05	
	その他(2社)	137,594	138,324	730	0.53	
	合計	4,528,533	4,559,454	30,921	0.68	

注2. 集計対象は16社の合計値。その他には2社含まれる。

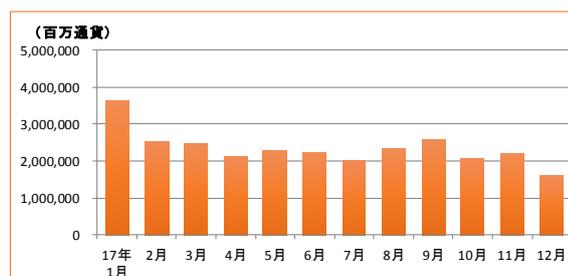
矢野経済研究所調べ

注3. ヒロセ通商の口座数には、バイナリーオプションの口座数が含まれる。

【 取引高 】

- 月間取引高ランキングの第1位はDMM.com証券で47.6兆円(百万通貨を1億円として換算)、第2位はGMOクリック証券で44.8兆円(同)であった。

図表 3. 月間取引高推移と12月月間ランキング



(単位：百万通貨、%)						
取引高 順位	社名	2017年11月	2017年12月	減少額	前月比	増加率 順位
1	DMM.com証券	604,745	476,053	▲128,692	▲21.28	
2	GMOクリック証券	661,569	448,185	▲213,384	▲32.25	
3	ウイジェイFX	237,866	188,266	▲49,600	▲20.85	
4	ヒロセ通商	227,363	172,857	▲54,506	▲23.97	
5	外為どっとコム	192,402	125,632	▲66,770	▲34.70	
6	マネーパートナーズ	122,896	81,853	▲41,043	▲33.40	
7	FXプライムbyGMO	56,861	25,033	▲31,828	▲55.98	
8	マネックス証券	29,175	22,930	▲6,245	▲21.41	
	その他(4社)	69,508	43,683	▲25,825	▲37.15	
	合計	2,202,385	1,584,492	▲617,893	▲28.06	

矢野経済研究所調べ

注4. 集計対象は無回答4社を除く12社の合計値。その他には4社含まれる。

注5. FXプライム by GMO はカバーをしている同業他社等、マネーパートナーズはCFD(差金決済取引)、ヒロセ通商はホワイトラベルを含む。

注6. マネックス証券は、証券単体の店頭取引の公表数値に営業日数を乗じて弊社で算出し、単位を億円で表記。

注7. 百万通貨は1億円として換算。